

城山小学校 PTA

城山小学校 PTA は、昭和 59 年、城山小学校が開校した年に発足し、現在に至っています。

城山町 40 周年にあたる令和 4 年度の児童数は、38 名で、3・4 学年が複式学級となり、全 5 クラスと、高崎市の中でも小規模校となっています。

今、子どもたちが正しく健やかに育っていくゆたかな教育環境を醸成するには、家庭と学校そして、地域とが連携し、協力し合って「共に子どもを育てる」ことの大切さが伝えられています。

そうした機能発揮を期待されている PTA 組織について、その事業の在り方や参加形態を巡って忌憚のないさまざまな議論はあってしかるべきですが、PTA そのものに「参加しない」「解体する」ということはすなわち、「教育」の 3 要素のうちのひとつ「社会教育」機会の放棄にほかなりません。

社会教育とは、(子どものみならず) 成人教育の場でもあります。より良い保護者・先生であるためには、自ら学びや研修に励む必要があります。より良い大人であることが、子どもたちの健全育成のためには大切なことです。PTA は「社会教育団体」として、大人に対しても、子どもに対しても「人づくり」「地域づくり」「絆づくり」といった役割を果たさなければなりません。

そのために取り組むことを、地域の仲間たちとどのように合意形成し、予算・事業を執行し、諸手続きや諸事業などの改廃を重ねつつも、社会教育団体としての活動を連綿と続けていくにはどうすればよいか、それこそ「民主的手法」による議論と合意形成プロセスが大いに機能発揮されることです。それらを誰かに委ねるとしても、まずは参加(在籍)してから委ねなければならないのが民主的なプロセスです(このようなプロセスから脱退するということは、反対・賛成の意見を言うことも、改善を求めて意見する機会も持てなくなる、ということです)。

めまぐるしく変化する時代の中であって、40 年間、常に“地域の中の小学校”として地域の方々に大切にして頂いている事に感謝しつつ、城山小 PTA としても、今いるこの場所を大切に、そして、地域貢献の活動をもっと行っていく事が PTA の課題なのではないかと考えています。「未来の宝」である子どもを地域の方々と力を合わせて励まし、成長を見守っていきたいと思います。

(星野千春)

城山学童クラブ

支援員 飯塚まつ江

季節のうつろいを身近に感じることでできる唯一の学童であると自負しています。そして、子ども達にもこの恩恵が着実に注がれています。時代背景もあり、児童数が激減している中、学童の在籍人数も減っております。コロナという未曾有のウイルスが出現し、不自由な生活を余儀なくされている子ども達を見ていると胸が痛みます。子ども達の精神面にも配慮しつつ、日々の保育に努めています。小学校のご厚意で校庭を全部使わせて頂けることに感謝しつつ、サッカー、リレー、ドッジボール、また一輪車、野球、遊具を使って遊び、ほんとに全身を使つての運動をさせて頂いています。時には、学童の隣の山に入り、“崖登り”などにも挑戦しています。

さて、城山学童では以下のように基本的な理念(大切にしていること)があります。

- ・子ども一人ひとりの個性を大切に。
- ・異年齢の仲間を通じて社会性を身につける。
- ・体を動かして元気に遊び体力をつける。
- ・城山の自然環境を利用して遊び学ぶ。
- ・季節の行事を大切にする。

この事を 40 年の歴史の中で脈々と受け継がれていることは、大変な努力と協力がなければ成し得ないことだと思います。子ども達を大切に思う父母たちの心、そして共に育て育んで見守ってくださろうとして協力を惜しまない地域の方々のあたたかなまなざしの中で成長できる子ども達は、なんと幸せなことだと思います。これからも子ども達は、健やかで、そしてたくましく成長して行ってくれることでしょう。

